



# はまぜん祭り

みかわち焼 窯元

5月1日(日)～5日(木・祝)  
9時～17時 三川内皿山一帯

みかわち焼  
1000趣  
1000枚の豆皿市

昭和初期の窯場の雰囲気漂う「豆皿&ブチ器展」の会場

(写真上から)  
陶祖神社での「はまぜん供養」の様子  
▶はまぜん供養で披露された「ろくろ細工」の実演▶窯元を訪れ商品を手にする来場者▶三川内山公民館での「オークション」の様子(1日3回開催予定)▶豆皿展会場近くの「窯カフェ」で休憩する来場者  
※写真は主に平成26年開催時の様子。

みかわち焼  
オフィシャルサイト



問 観光物産振興局 ☎24・1111  
☎30・8480  
委員会(藤本岳英さん)

「はまぜん」とは、磁器を焼くときに、ゆがみ防止のため焼き物の下に敷く台のこと。みかわち焼は、このはまぜんのおかげで繊細優美な製品となりますが、はまぜんはその性質上、一度しか使用できないため、大切な役割を果たした後は、その都度捨てられています。

「みかわち焼窯元はまぜん祭り」では、このはまぜんに深く感謝の意を表するため、毎年、祭りの初日に陶祖神社で供養を行っています。高度な技術の継承だけでなく、このように道具にも心を配る陶工たちの仕事の流儀が、四百年以上も続くみかわち焼の礎になっています。

祭りの期間中は三川内皿山一帯の参加窯元が会場になり、窯元とふれあいながら買い物ができます。特に「豆皿&ブチ器展」は修復された古い窯場で開催され、当時の雰囲気味わえると来場者に人気のスポットになっています。千趣千枚の豆皿は、染付や細工、釉薬の色など、どれもみかわち焼の技術を駆使して作られた逸品です。豊富な種類の中からお好みのものをお選びください。

毎年人気のスタンプリヤークション、窯カフェなどは今回も開催予定で、情緒あふれる皿山周辺では、カメラ片手に散策するのもおすすめです。期間中はどうぞ四百年の歴史と技が息づく三川内皿山を訪れていただき、買い物や独特の風情などをお楽しみください。



はまぜん